これでよいのか 職場の声

なぜ起こる人車の脱線

三月二十五日、人車の脱線事故が連続して発生しました。

三百八十メートル坑道八十卸材料線巻立て坑道で人車後部の機関車が脱線。幸い負傷者は出ませんでしたが、翌日が車道の官庁検査になっていたために、痛んだ枕木六十数本を取り替えました。

また、三百五十メートル坑道九十卸材料線で、係長迎え人車が材料線へ進入中にポイントが切り替わって脱線。泣き別れになって脱線の状況はかなりひどかったのですが、迎え人車のために人が乗っていなかったので、負傷者が出なかったのは幸いでした。

それにしても、最近は運搬事故が多すぎるようです。大事故を起こさないためにも、原因と対策を十分検討して、運搬事故を絶滅しなければなりません。

大型炭車の落炭防止を

三百五十メートル坑道空函線の粉炭の堆積がますます増加しています。坑底ダンプ線や十三卸カーブ付近では、枕木が見えないくらい粉炭が溜まり、この粉炭が車輪やレールと枕木の間ですり潰され、微粉炭になっている所も多くなっています。

これが脱線などの原因で吹き飛ばされて炭塵雲が形成された場合、マイナス電流で火花を散らして走るトロリー電車では、炭塵爆発を起こす可能性は十分あります。

会社は「粉炭を吸い上げる集塵装置を検討している」と回答してから一年以上にもなるのに、今だに何もしないで放置しています。

炭塵爆発が起こってからでは遅すぎます。早急に落炭防止対策を実施するよう要求します。

保安設備は早期改善を

三百八十メートル坑道本線の奥にあった救急センターは、端板が腐れ落ちてビニールがひらひらし、穴があいていた。

三月二十日の保安会の場でわかったので、翌日確認して係長や保安部へ連絡したが「上部に言っておきました」と言ったままで、なかなか改善しない。三月三十一日の三池労組執行部点検の二日後に改善されたという。

三池鉱になって重大事故につながりかねない運搬事故が相次いでいるが、保安に対する力の入れようが三川鉱の時とは違っているように思える。

この救急センターの例のように、急を要する保安設備の改善もすぐにはしなくなった。（この救急センターは四月六日、八十卸添卸に移設された）

× ×

「声」は三分会職場新聞『やま』四月五日号、一分会職場新聞『きずな』四月十二日号から。このほか、粉じん、脱衣場、崩落、尾灯についての告発がありました。

姿見

結婚記念日

荒尾ブロック　工藤正子

二十年目の結婚記念日を祝って、主人が一泊旅行に連れていってくれました。

二人きりの旅行は新婚旅行以来のことです。二人とも昼過ぎまで仕事をして、少し疲れての出発でした。

かわいい愛車に大きめ二人ですから、坂道では馬力がなくなってのろのろ運転。思わず「がんばれ」と言いたくなります。

一口に二十年と言っても、いろいろなことがありました。過ぎ去った自分達の人生を思い、これからも子供達がずっしりぶらさがってくることを考えると「重いぞ」と思わせるような車の動きでした。

途中は春の新緑の季節にふさわしく景色もきれいでしたが、何よりも良かったのは「ああでもない」「こうでもない」と、二人でゆっくり話ができたことです。

楽しかったこと、悲しかったこと、お金がなくって苦しかったことなど、この日ばかりは笑いながら話がはずみました。

旅行に出て、もう一つ良かったのは、やっぱり、いつでも入れるお風呂、何もしないで食べられる食事、本当にうれしいものです。おかげで、束の間の命の洗濯ができました。

いい思い出をプレゼントしてくれた主人に、感謝の思いを新たにした二日間でした。

退職の夫妻を招待

天草で三池労組の統一行事

統一行事では中原組合長があいさつ、退職者に記念品が贈られ、代表して松尾進さんがお礼を述べました

今年の統一行事は、天草大矢野島二号橋手前の小松屋渚館で催されました。『やま』の記事から。

三月二十五日、恒例の統一行事は天草だった。

バス三台でいざ出発。程なく進行するうちにビール、つまみがまわってくる。感謝の気持でグイと一杯。車窓から見る景色は、桜が咲き、川の岸辺には菜の花が咲きこぼれ、天草の海は白く泡立っているが日差しは明るい。まさに春爛漫である。

目的地天草の小松屋に着く。海の幸に舌鼓をうちつつ飲む。やがてカラオケ、舞踊と宴は佳境に。

カーテンが引かれ、ミュージックが鳴りひびくと、突如として始まった「小松屋スペシャル」ピチピチギャルはモンローばりのスカートは宙に舞い、チャイナドレスの裾はあくまで大胆に割れ、酔眼もうろうとして見る舞台は遠く、無念残念。

飲むほどに酔うほどに、思うは来年の旅はいずこぞ、楽しみなり。

いまの炭鉱の状況を狂句でもじれば、「桜咲き　北は閉山　南は？」（三分会・太田千歳・記）

小岱山へハイキング

訴訟団が春の行事

裁判闘争が長びく気配であり、次回の公判まで間があることから、たたかいは体力づくりからと、三池不当解雇訴訟団では四月九日、小岱山（頂上は五〇一メートル）へのハイキングを催しました。

総勢二十人。府本の登山口から頂上をめざしましたが、中腹から頂上近くになると、さすがにへばって座り込む者も出る始末。

桜の花も残り、小岱つつじや山ふじの花も咲いている。観音岳に着くと、まず『がんばろう』の歌声で始まり、全員輪になって昼食。冷えたビールのうまいこと。暑過ぎるほどの日射しに涼しい風。森林のにおいを胸いっぱい吸い込んでの山行きは最高でした。

「やっぱり歳だなあ」という声もあったが、金もかからないし、体にいいし、「また登ろう」との声がしきりだった

あほンだら

芝岡如友画

ニュース抄録

小選挙区比例並立制

衆議院の選挙区制改革を検討している選挙制度審議会（首相の諮問機関）の第一委員会は四月三日、小選挙区比例代表制の並立制の導入を答申することを決めました。小選挙区と比例代表の割合を五対五にするか六対四にするかの結論は持ち越し、比例代表区の単位は全国十一ブロック、総定数は五百人程度とすることにしています。

「並立制」は、総定数を小選挙区と比例代表に分け、それぞれ別の選挙を行うもので、現在の参院選の方式に似ています。これだと自民党が小選挙区で圧倒的多数を獲得し、さらに比例区でも議席を上積みでき、小選挙区の比率が多い方がさらに有利に――。自民党は今年中に成立を狙っています。

大規模小売店舗法

通産省は、スーパーマーケットなどの大型店の出店を規制している大規模小売店法（大店法）の運用を緩和しようとしています。

日米構造協議でアメリカが日本の大店法の廃止を主張したことに対応して、規制を緩和しようというものです。現状は、出店にあたって地域との合意形成を重視し、出店の地元商店街への事前説明期間と消費者も加わる商業活動調整協議会への事前説明期間を無期限にしてきました。それを、それぞれ「原則六カ月以内」「同八カ月以内」と区切り、これまで十年近くかかるケースもある出店表明から開店までの期間を、二十五カ月程度に短縮させようとしています。

〝そこのけそこのけアメリカ流通大企業を通す〟ため、国内の小売店舗、消費者は横にどけられてしまいます。

勤労者の貯蓄995万円

総務庁の「八九年貯蓄動向調査」によると、勤労者世帯の貯蓄額は平均九百九十五万円で前年に比べ九・七％増。「わが家はとても…」と思う人が多いでしょう。これは高額貯蓄層が平均額を高めているためです。

貯蓄額の少ない世帯から多い世帯順に並べた場合の真ん中の世帯（中位数）は六百三十万円。また、いくらの貯蓄を持っている世帯が最も多いかをみる（最頻値）と三百七十八万円です。

百万円未満が六・〇八％。

貯蓄の種類別では、定期性預貯金が三百六十九万円、生命保険・損害保険が二百七十八万円、有価証券二百三十万円、普通預金などの通貨性預金が七十一万円など。株式など有価証券の伸びが目立ち、勤労者世帯の中での資産格差が広がっています。

一方、住宅・土地のための負債は平均八百三十万円で、貯蓄とトントン。